

<Japan Buy-out Deal Conference in 八王子>

企業価値向上シンポジウム**～製造業の事業再編、事業承継、経営革新における戦略的視点～**

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、八王子にて、「企業価値向上シンポジウム」を開催することになりましたのでご案内させていただきます。企業競争力の強化のための戦略的視点が重要になってきている中で、東京都の多摩地区、神奈川県相模原地区、甲信越地区、埼玉県の西部地区の企業経営者の皆様に有益な情報をお伝えできればと思います。

近年、M&A (mergers & acquisitions) に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。製造業においても、特に、自動車部品、精密機械、プラスチック製品、非鉄金属、金属製品、一般産業機械、電気機器、電子部品・デバイス、医療機器、情報通信機器、化学工業、家具、木材・木製品、医薬品、化粧品、食料品・飲料、農産物加工、繊維製品、靴・革製品などの事例が数多く登場しました。具体的には、大企業の事業再編・子会社独立にバイアウトの手法が活用された事例、中堅・中小のオーナー企業の事業承継にバイアウトの手法が活用された事例、多様なネットワークを活用して海外事業を強化した事例、再生企業が資金調達を実施して抜本的な経営改革を行った事例、などが出てきています。本シンポジウムでは、バイアウトの手法と事例を分かりやすく解説します。

経営改革を行いさらなる成長・発展を目指す企業の経営者、アジアを中心とする海外に拠点を有する企業の経営者、後継者問題を抱える中堅・中小のオーナー企業の経営者、業績低迷からの脱却を目指す企業の経営者、戦略的 M&A や事業再編を検討している企業の経営者などにお薦めです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催要領**【日時】**

2018年11月28日(水) 13:10~17:30 (12:40 受付開始)

【会場】

京王プラザホテル八王子4階宴会(東京都八王子市旭町14-1) JR八王子駅より徒歩1分・京王線京王八王子駅より徒歩3分

【参加費】

1名23,000円(税込)

【参加対象】

- 未上場オーナー企業の経営者、上場企業(子会社を含む)の経営者(経営企画担当、財務担当、社長室など)
- 地域金融機関(地方銀行、信用金庫など)、大手銀行、証券会社 ■弁護士、会計士、税理士などのプロフェッショナル

【お申し込み方法】

申込書でのFAX送信かWebサイト上(<http://www.jbo-research.com/>)で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsors**Co-sponsors**

Advantage Partners



TMI 総合法律事務所



FRONTIER MANAGEMENT INC.
フロンティア・マネジメント株式会社

NEXT ネット・キャピタル・パートナーズ



エンデバー・ユナイテッド株式会社



Japan Private Equity Co., Ltd.



主催：株式会社日本バイアウト研究所

協力：株式会社東京スター銀行 株式会社中央経済社

URL: <http://www.jbo-research.com/>

【お問い合わせ先】 jbori@jbo-research.com (担当：杉浦)

プログラム

受付開始 (12:40)

基調講演 (13:10-13:50)

テーマ：製造業の成長戦略における M&A・バイアウトの手法の活用
～ものづくりの技術・ノウハウのシームレスな継承のために～
ライジング・ジャパン・エクイティ株式会社 代表取締役社長 丸山哲夫氏

<概要>

戦後の日本経済の復興の一翼を担ってきたのは多くの中堅・中小製造業であることは論を俟たないが、取引先企業の製造拠点の海外移転や国内市場の縮小などの進行に伴い、創業オーナーまたはその後継者が自社の今後の戦略を考える上で事業承継を有力な選択肢の一つとして捉えることが増えてきている。また、親会社の事業戦略の変更に伴い、グループ内での位置付けが変わった製造子会社にとっても親会社からの独立が自社技術の継続のために有効と考える経営陣も多い。長年をかけて築いてきたものづくりの技術・ノウハウをいかに継承し伸長させていくかとの問いに対する M&A やバイアウトの手法の活用の有効性を、事例を交えて概説する。

マーケット・レビュー (13:50-14:30)

テーマ：日本の製造業を中心としたバイアウト案件の動向 ～事業再編、事業承継、海外展開の事例を中心として～
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

製造業（自動車部品、産業機械、電子部品、精密金型、プラスチック成形、プリント基板、電気機器、化学、繊維、資材、木製品、食品など）を中心としたバイアウト案件の動向について解説する。特に、大企業の事業再編による子会社・事業部門の独立を伴う案件、オーナー企業の事業承継や資本再構築を伴う案件、アジアを中心とする海外事業の強化が実施された案件について、具体的な事例を交えて説明する。

休憩 (14:30-14:40)

事例紹介①インタビュー・セッション (14:40-15:15)

テーマ：事業承継から始まった金属加工メーカーの非連続な成長 ～一本足からの脱却を目指す協成の取り組み～
株式会社協成 代表取締役社長 古賀慎一郎氏
株式会社アドバンテッジパートナーズ プリンシパル 早川裕氏
聞き手：デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社 シニアヴァイスプレジデント 永松博幸氏

<概要>

協成は、エッチングを得意とする金属加工メーカー。試作だけでなく、同業で唯一タイ工場を有し、顧客の量産要請にも対応している。主に大手電子部品メーカー向けのスマホ部品を手がける、いわゆる一本足企業だった。事業承継後、同社は“エッチング+One”戦略を掲げコア技術を基軸に、半導体や医療など新規顧客の開拓、新しい技術領域への挑戦、親会社（現ユニテッド・プレジジョン・テクノロジーズ）が資本参加したコーケン化学との事業シナジー実現の取り組みなどを進めている。本セッションでは、単一技術を主力としていた加工メーカーが、如何にして非連続な成長を実現させてようとしているのか、その経営陣とアドバンテッジパートナーズの活動を紹介したい。

事例紹介②インタビュー・セッション (15:15-15:50)

テーマ：日本の先端企業を世界に！再成長を目指す製造業への投資 ～ファイベストの事例～
CIG Japan 株式会社（旧ファイベスト株式会社）代表取締役社長 高田敏弘氏
インテグラル株式会社 ディレクター 山崎壯氏
聞き手：株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

<概要>

日本には、卓越した競争力を保有しているものの、持続的成長のチャレンジに直面する製造業が数多く存在する。バイアウトの手法の役割の一つとして、競争力のある企業に対し、次の発展ステージへの移行の支援を行う再成長支援がある。本セッションでは、データ通信の大容量化トレンドの中で革新的変革を遂げる光部品製造業界で世界トップクラスの技術力を持つファイベスト（本社：東京都八王子市）へのインテグラルの支援の歩みを紹介し、企業の再成長フェーズにおけるバイアウトが果たすべき役割につき解説する。

コーヒープレイク (15:50-16:10)

パネルディスカッション (16:10-17:15)

テーマ：日本の製造業の次なるステージへの飛躍に向けて ～バイアウトの手法を活用した企業価値向上戦略～
アイ・シグマ・キャピタル株式会社 ファンド・事業投資グループ エグゼクティブ・ヴァイス・プレジデント 中村大介氏
シティック・キャピタル・パートナーズ・ジャパン・リミテッド マネージング・ディレクター 小林進太郎氏
株式会社トライハード・インベストメンツ 執行役員 藤井潤氏
司会者：アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 取締役 山本恵亮氏

<概要>

激変する環境下において、人材不足、マーケティング・チャネルの拡大、グローバル化への対応、財務体質の強化などの経営課題を抱えている企業が多いが、M&A やバイアウトはこれらの課題を解決する有力な手段となる。本セッションでは、多様な製造業（産業財・消費財）の案件に関与しているプロフェッショナルに登壇頂いて、どのような経営課題を抱えている企業がバイアウトの対象になるのかについて紹介する。また、飯野製作所（自動車部品の製造）、東山フィルム（工業用ポリエステルフィルムの製造）、上島製作所（材料試験機・流体制御部品の開発・製造）、日東コーン・アルム（冷凍ケーキを中心とした菓子類の製造）、ポリマテック・ジャパン（ポリマー加工製品の設計・製造）、東海スプリング製作所（自動車用精密バネの製造）、などの多彩な事例を取り上げながら、バイアウトの手法の活用意義や企業価値向上に向けたキーポイントなどについての討論を行う。

クロージング・スピーチ (17:15-17:30)

テーマ：バイアウトの手法を用いた製造業のカーブアウト型 M&A に際しての法的留意点
TMI 総合法律事務所 弁護士 十市崇氏
TMI 総合法律事務所 弁護士 谷口達哉氏

* 本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。